

大村市**社会福祉協**議会だより

# かけはし



2026.  
7 月号  
No.230

基本理念「向こう三軒両どなり みんなつながり支え合い いきいき安心おおむらづくり」

最新情報は  
コチラ



ホームページ



LINE



Instagram



## もしもの時に備えて **今**できること

～災害ボランティアセンター設置運営訓練～



5月30日(土)長崎県総合防災訓練の一環として、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。今回は市、大村青年会議所に加え、大村市民生委員児童委員協議会連合会、長崎県社会福祉協議会、長崎県災害ボランティア連絡会の皆さんにご協力いただきました。

訓練では、災害時と同じ流れで受付から活動報告までを行い、職員や関係者がそれぞれの役割を確認しました。また、一輪車を使った運搬作業等の実践的な内容も取り入れました。参加者からは「訓練の流れがわかってよかった」「事例検討の内容が具体的でイメージできた」等の声が聞かれました。

災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、日頃の準備と訓練で、これからも地域の皆さんと協力し、安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

# 取り組んできたこと



## 指定特定相談支援事業 (障害者相談支援事業)

障がい者が希望する生活に必要な障害福祉サービスを適切に利用できるよう、サービス担当者会議等を開催しサービス等利用計画の作成及びモニタリングを実施した。

## 指定障害児計画相談支援事業

保護者への相談支援を行い、ニーズに添った障がい児支援計画作成のもと、担当者会議、調整会議、ケース会議等を開催し情報の共有を図った。また、各種研修に積極的に参加し、相談支援専門員のスキルアップに努めた。

## 指定一般相談支援事業 (地域移行・地域定着支援)

入院や施設入所している方の地域生活を実現するために情報提供し、地域移行・定着支援を実施した。

## 基幹相談支援センター事業 (障害者自立支援協議会)

大村市の相談支援の拠点として基幹相談支援センターを設置し、大村市障害者自立支援協議会の事務局として、各専門部会等を運営するとともに、専門研修会を開催した。また、市内相談支援事業所の支援を継続的に行ったほか、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域課題抽出にも取り組んだ。

## 地域生活支援拠点等事業

障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するための活動を行った。

## 障害者虐待防止対策支援事業

障がい者虐待の未然防止や早期発見、虐待が認められた場合は、速やかに関係者会議を開催する等、虐待防止センターの運営を行った。また、地域住民、関係機関及び委託相談等から得られる情報収集に努め見守り体制を強化した。

## 自立生活援助事業 (わかば)

単身等で生活する障害者を定期訪問し、必要な助言や関係機関との連絡調整等を行い、支援に取り組んだ。

## 大村市療育支援センター 経営事業 (ステップ)

指定管理者として、発達等に支援が必要な未就学児を対象に個々に応じた支援計画を作成し、集団療育、個別療育等を行った。また、地域支援として市内関係機関等から研修の受け入れや施設の貸出等を行い連携を図った。さらに、提供する支援の質の向上に努めるとともに就学・就園等へのスムーズな移行支援にも取り組んだ。

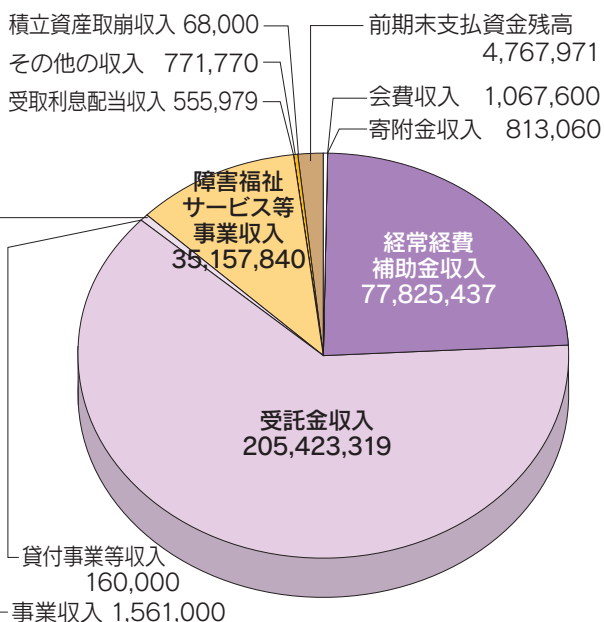
## 保育所等訪問支援事業 (スキップ)

保育所等に通う利用児がスムーズに集団生活に適應できるよう保育所等を訪問し、個別支援計画による直接的支援や、職員に対する助言、児童の特性に合わせた環境設定等の助言を行った。また、療育支援センター(ステップ)と連携を図り、訪問支援の提供に努めた。

## 令和7年度 社会福祉事業決算

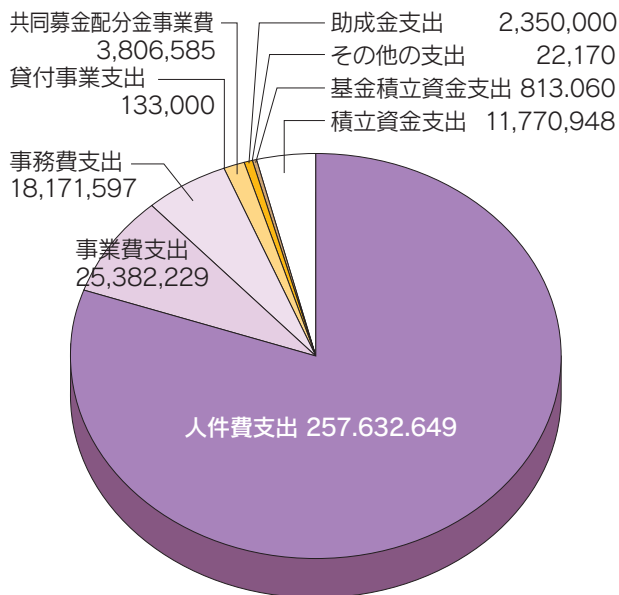
【収入】 328,171,976円

(単位:円)



【支出】 320,082,238円

(単位:円)



# 令和7年度事業報告

# 大村市社協が

## 法人運営事業

法人運営の安定化と事務及び事業の効率的な推進を図るため、必要に応じて理事会及び評議員会を開催した。  
また、第31回大村市社会福祉大会を開催した。

## 日赤活動資金募集並びに共同募金及び歳末たすけあい運動

日赤活動資金募集では赤十字運動月間を展開し、赤い羽根共同募金運動では、募金箱設置や街頭募金の実施、学校募金の推進を図った。また、歳末たすけあい運動では、生活困窮世帯に対し見舞金や、生活困窮者支援物資、広報費等に役立てた。セーフティネット支援事業では、緊急を要する生活困窮者に支援を行った。

## 大村市総合福祉センター経営事業

指定管理者として、適正な運営と適切な維持管理に努め、福祉活動の拠点となるような活動の場の提供や高齢者の余暇活動の支援を行った。高齢者福祉センターでは、まちかど市民ギャラリーで教養講座作品展示会を行った。

## 大村市地域生活支援事業(手話通訳相談)

聴覚障がい、言語機能障がい等で意思疎通困難な方への支援のため、手話通訳相談員による相談及び通訳を行った。当事者等の交流と社会参加促進のためミニデイサービスを開催した。

## 大村市高齢者活動支援施設経営事業(ふれあい館)

指定管理者として、自宅に閉じこもりがちな高齢者の介護予防と生きがい活動の場の提供を行った。

## 大村市通所介護予防サービス事務事業(地域ふれあい館)

高齢者の介護予防と生きがい活動のため、地域住民が主体となり開催している地域ふれあい館10か所の運営の支援を行った。

## 地域福祉活動事業

第2期支え合いプランの中間見直しを行うとともに、6地区社会福祉協議会へ継続的な活動支援を行ったほか、身近な相談窓口として出張相談会を開催した。また、小学校等へ出向き、車いす体験等の福祉教育の出前講座を行った。

## 企画広報事業

社協だより「かけはし」及びホームページ、SNSの活用により事業の広報、紹介等を行った。事業紹介動画を作成し公開した。

## 福祉人材研修事業

市内の福祉人材育成のため、介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修を開催するとともに、基本介護技術研修を開催した。また、福祉人材の確保と就職の斡旋のため、就職相談会を開催した。

## 災害ボランティア支援体制整備事業

関係機関と災害時協力体制の連携を図るとともに、大村市防災訓練において、災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催した。また、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直しを行った。

## 大村市ボランティアセンター運営事業

ボランティア依頼団体と登録ボランティアのマッチングを行ったほか、若者ボランティア団体交流会や活動展示発表会を実施した。

## 地域活動支援センター事業

閉じこもりがちな障がい者等に対し、日常生活・社会生活を支援するため、フリースペースの提供や地域交流活動等を行うとともに利用者の日常生活相談支援を行った。

## 大村市生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者が抱える多様な問題の相談に応じ、適切な情報提供と自立へ向けた支援計画により自立促進を図った。

## 大村市就労準備支援事業

一般就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、一般就労に向けた準備として基礎能力形成のための支援を行った。

## 資金貸付事業

低所得世帯等の生活安定と自立更生のため、県社協生活福祉資金や大村市福祉資金の適切な貸付により、経済的自立支援を行った。また、新型コロナ特例貸付借受人に対してフォローアップ支援を行った。

## 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)

判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービス利用援助や金銭管理、書類等の預かり支援を行った。

## 中核機関センター運営事業(大村市成年後見支援センター事業)

相談者の対応のほか、市民後見人候補者養成研修会を開催した。

## 法人後見事業

法人後見が適切と思われる方を、法人後見権利擁護委員会にて検討し受任を開始した。

## 障害者生活支援事業(ラフ)

身体障がい者(児)・知的障がい者(児)が住み慣れた地域で、安心して自分らしく生活できるよう、24時間365日の相談支援に取り組み、障がい者が暮らしやすい街づくりのため支援ネットワーク構築を図った。

## 精神障害者地域生活支援事業(ラム)

精神障がい者の生活適応を促すため、生活相談への対応や緊急対応を行い、24時間365日の相談支援に取り組んだほか、利用者のニーズを充足するため、近隣住民や関係機関と連絡調整を行った。また、支援が途切れないよう定期的な安否確認を行った。

支えあう

住みよい社会

地域から

# 頑張ってください!

=街頭PR活動を実施=



南地区第2：コレモおおむら

北地区第2  
産直かやぜ



講師：福田博英氏  
さくらホール



北地区第1：かとりストア

民生委員・児童委員は、5月14日(木)にはさくらホールで総会を、5月16日(土)には街頭PR活動を実施しました。

総会では、永年勤続表彰などのほか、医師の福田博英氏が「認知症の原因と克服のカギ」と題しての記念講演が行われました。

街頭PR活動では、市内10か所の商業施設等をお借りして、民生委員・児童委員のPR活動を行いました。「活動頑張ってください!」と励ましの言葉をいただくなど、今後の活動への大きな力をいただきました。

問合せ先

大村市民生委員・児童委員協議会連合会

TEL/FAX 47-5950



民生委員・児童委員のひろば

## さわって感じて さくら文庫

ボランティアグループの「あじさいグループ」と「ききょうグループ」の皆さんが制作された布の絵本、布のおもちゃを貸し出しています。詳しくはお尋ねください。



へるぶん

【大村市ボランティアセンター公式LINE】

ボランティア情報を配信中♪

【お問合せ】大村市ボランティアセンター

Tel.56-8663 Eメール ovc@omura-shakyo.net

LINE友だち募集



## 指導教員を目指して



5月9日に医療的ケア教員講習会を開催しました。喀痰吸引や経管栄養の指導教員を目指す看護師の方11名が参加されました。

介護職が行う医療的ケアの理解や他職種連携の大切さがわかって良かったという声が聞かれました。



この講習会は赤い羽根共同募金の助成により実施しました

職員紹介

(総務班)

渡邊 結衣



令和8年4月1日付で入職いたしました。地域への理解を深めつつ、より良い居場所づくりに貢献できるよう精一杯努めてまいります。

令和8年度成年後見制度セミナー



後犬ちゃん

参加無料

わかりやすい  
市民向け

# 成年後見制度

定員  
50名

制度のことはもちろん、日常生活の中で起こり得る場面を、寸劇を交えながら、楽しくわかりやすく説明!!

【日時】7月15日(水) 13:30~15:00

【場所】プラットおおむら  
4階大会議室 (本町458-2)

【講師】公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター  
長崎県支部の皆様

【対象】大村市在住・通勤通学の方

【お問合せ・お申込み】

大村市成年後見支援センター

TEL 47-8130

二次元コードからお申込みできます!

